

近畿大学 アカデミックシアター プロジェクト

令和5年度 募集について

文理の垣根を越えて 社会の諸問題を解決に導く 実学の実践拠点。



近畿大学の学生が主体となり、
教職員、企業、地域住民の方々と**協働**しながら、
多様な個性をぶつけ合い、
専門領域を超えた試行錯誤を繰り返し、
共に社会問題に立ち向かう
社会的価値を生む活動。



プロジェクトは1年毎に学内公募から採択され、それぞれが自主性を持って取り組みます。
令和4年度のプロジェクト数は合わせて約30のプロジェクトがあり、
全プロジェクトの合計イベント数は100回以上にもなります。

プロジェクトの5W1H

なにを？ (What)

アカデミックシアターを起点に近畿大学に笑顔や賑わい、活気を生み出すことを目指しています。

いつ？ (When)

年間を通じて活動しています。

どこで？ (Where)

アカデミックシアターのさまざまなスペースが舞台です。
(ACT/GARAGEなど)

だれが？ (Who)

夢を持つ学生キャプテンを中心に共感する仲間たちが集っています。

だれと？ (with who)

気に入ったプロジェクトがあれば、どなたでも気軽にご参加いただけます。

どうやって？ (How)

アカデミックシアター公認団体として各プロジェクトは自分たちで運営しています。

学生プロジェクト

学生が持つ得意分野を活かし、学生主導で社会価値の創造に向けて探求、実践。

食品ロス削減推進プロジェクト



KINDAI BIG BLUE

など多数！



教職員プロジェクト

教員等の研究（知見）を活かし、学生と共に新しい課題を探究。

マーケティング・デザインX Lab.



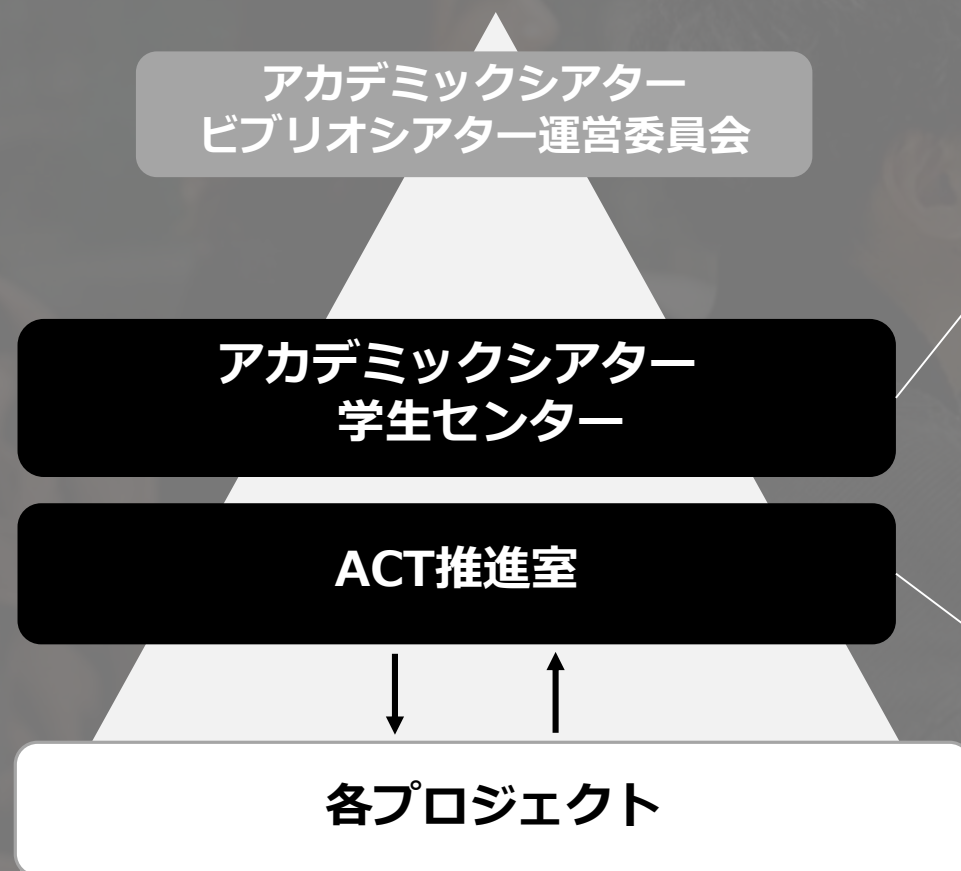
ゾンビ研究所

など多数！



プロジェクト運営をサポートする2つの組織

プロジェクト運営に関して、アカデミックシアターでは2つの組織でサポートしています。



アカデミックシアター
ビブリオシアター運営委員会

アカデミックシアタープロジェクトの年間を通した運用管理統括をする部署。

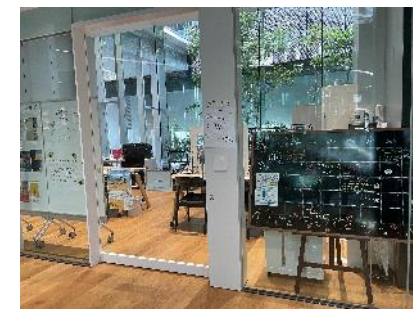
運用に関するサポートからプロジェクト全体でのイベント等を設計・管理しています。

アカデミックシアター
学生センター

ACT推進室

アカデミックシアター1FのACT212にて常時、プロジェクトの運営に関して運営を相談する組織。

各プロジェクト



プロジェクトに参加すると

- 所属学部以外の仲間ができる！
- 授業以外の楽しみが増える！
- 気に入ったプロジェクトがあればメンバーになれる！
- 自分がキャプテンになってプロジェクトを作れる！
- さまざまなサポートが受けられる！

※1 事前に面談と審査があります

※2 施設利用、広報PR・企画作成支援など幅広く活動をサポートします

プロジェクトへの主なサポート内容（施設利用・広報支援）

ACADEMIC THEATER

採用されたプロジェクトは、アカデミックシアター公認の団体として、アカデミックシアター内の施設を使用することができ、さらに様々なサポートを受けることが可能です。

サポート① 施設（ACT/イベントスペース）利用

アカデミックシアター内にあるガラス張りの部屋ACT（アクト）をプロジェクト活動の基点として1年間使用することが出来ます。



■ ACT

またアカデミックシアター内のイベントホール「実学ホール」や「ラーニングコモンズ」の使用も可能。



■ ラーニングコモンズ

サポート② モノづくり施設「GARAGE」利用

2021年4月に「ACADEMIC THEATRE Annex THE GARAGE」としてオープンしたモノづくり施設「THE GARAGE」を拠点に、様々な工作器具やデジタル機器を用いて、アイデアを形にするためのプロトタイプを制作することが出来ます。



サポート③ サポートプログラム

プロジェクト活動に基づく支援を目的に、様々なサポートプログラムを用意しています。※事前に面談と審査があります。

〈サポート内容例〉

- 必要な備品関係の購入・イベント実施・ゲスト講演等の謝礼等のサポート
- 外部メンター（CroMen様）によるチーム全体へのメンタリング
- プロジェクト間の情報/関心/スキルのマッチングのサポート
- 外部パートナー紹介のサポート

サポート④ 広報支援（情報発信）

アカデミックシアターで展開するWebサイト「ACTEX」や、アカデミックシアター公式ツイッター等を活用し、イベント告知やプロジェクトの情報発信が出来ます。



「学生キャプテン」対象のサポートに関するメンターシップメンバー「株式会社CroMen」

講座とメンタリングを通して学生のプロジェクトをサポート

▼株式会社CroMen

2012年よりこれまで参加者1,000名を超える大学生キャリア形成支援プログラム「**Cross Mentorship**」を運営。キャリア教育やコミュニティ形成の知見、企画運営ノウハウを活かして事業展開を行っています。



令和4年度は学生プロジェクト（アカチャレ）を対象に年間を通してサポート

- 各プロジェクトリーダーを対象としたプロジェクトマネジメント講座の開催
- 毎月のプロジェクトの進捗と目標に対する1対1メンタリング「1on1」対応
- 6名のプロジェクトリーダーによる交流会「アカチャレ」交流会の運営

サポート③ サポートプログラム

プロジェクト活動に基づく支援を目的に、様々なサポートプログラムを用意しています。※事前に面談と審査があります。

〈サポート内容例〉

- 必要な備品関係の購入・イベント実施・ゲスト講演等の謝礼等のサポート
- 外部メンター（CroMen様）によるチーム全体へのメンタリング
- プロジェクト間の情報/関心/スキルのマッチングのサポート
- 外部パートナー紹介のサポート

サポート④ 広報支援（情報発信）

アカデミックシアターで展開するWebサイト「ACTEX」や、アカデミックシアター公式ツイッター等を活用し、イベント告知やプロジェクトの情報発信が出来ます。



令和5年度における全プロジェクト対象公式イベント等の予定

ACADEMIC THEATER

プロジェクトに関わる関係者は、下記のアカデミックシアター公式「イベント」や「会議」への参加をお願いします。

全体イベント

■キックオフガイダンス（4月）

令和4年度、全プロジェクトが一同に集結したキックオフガイダンスを開催し、プロジェクト同士の顔合わせを実施。

■オープンACT（10月）

全プロジェクトおよび学内の学生を対象に各プロジェクトの取り組みを紹介しプロジェクト間の交流機会を生むイベントを開催。

■成果報告会（3月）

令和4年度の活動の締めくくりとして、プロジェクトの成果を発表するイベントを開催。

会議・講座

■全プロジェクト【代表または学生キャプテン】対象

①「プロジェクト代表者・キャプテン会議」

全プロジェクトの代表者もしくは学生キャプテンを対象とした会議を開催しプロジェクト間の交流を図る。

■学生キャプテン対象

②「1 on 1 ミーティング」

学生メンターシップメンバーと学生キャプテンとの1対1での定期ミーティング。プロジェクトに関する様々な相談を行うことが可能。

■希望者対象

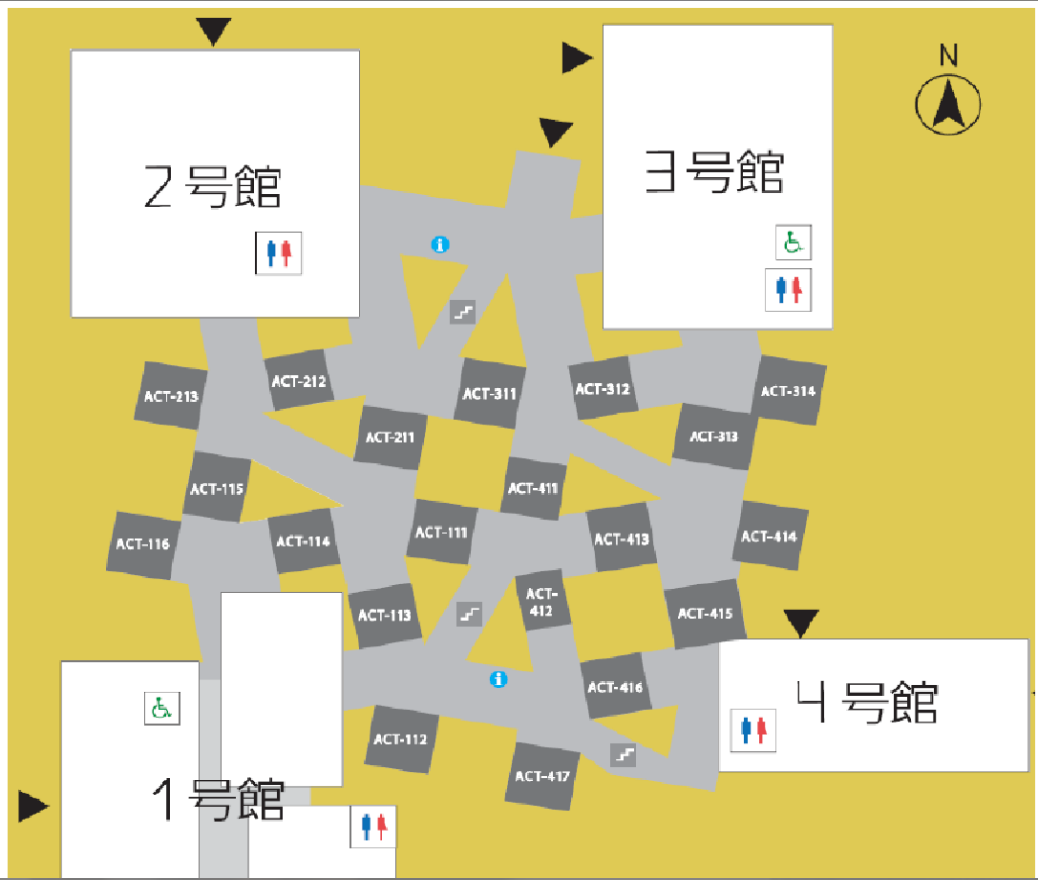
③ スキルアップ講座（「売りこみ力セッション」等）

プロジェクトの推進や自身の将来のビジョンに役立つ様々な講座やセッションの開催を予定。

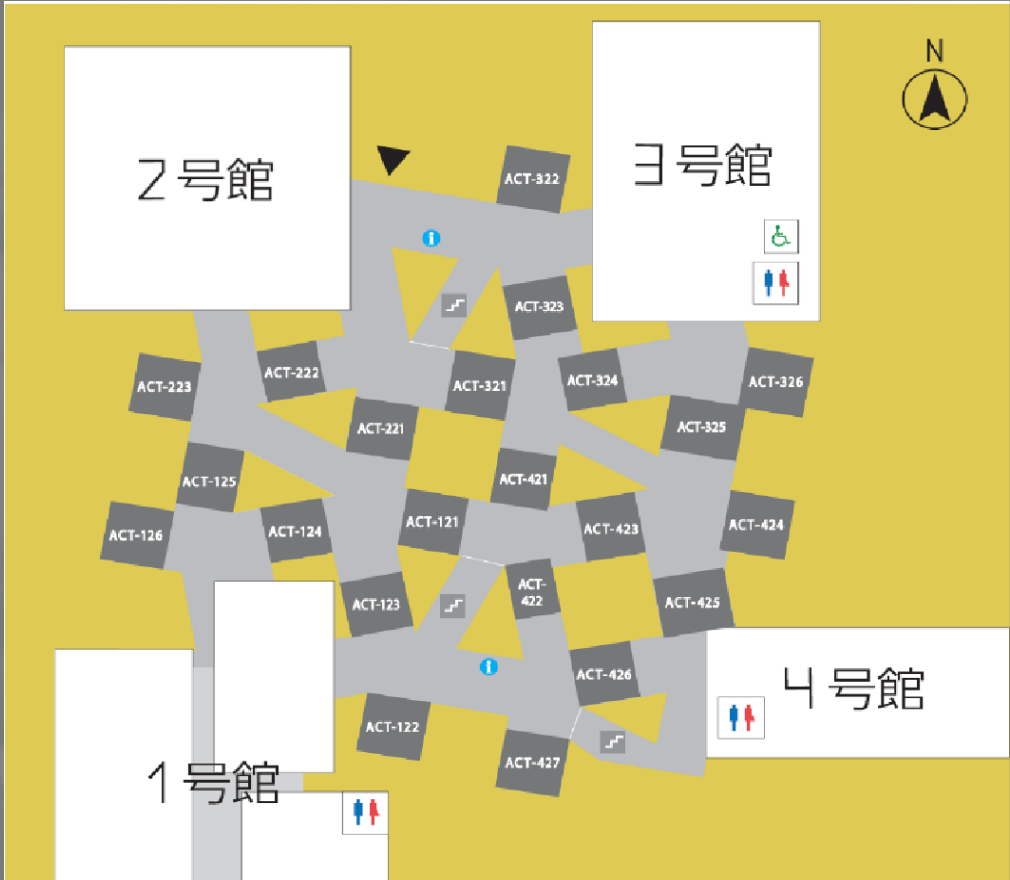
ACT (アクト) 施設情報

ACADEMIC THEATER

1F



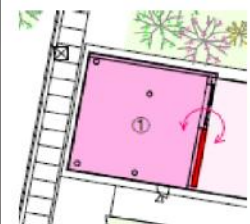
2F



プロジェクトスペース

【大ACT (アクト)】

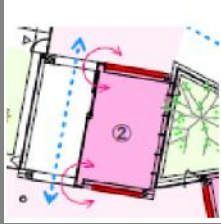
約50㎡ 25名程度収容
*ACT (アクト) によって
多少の大小あり



5号館 1F/2F

【小ACT (アクト)】

約20㎡ 15名程度収容
*ACT (アクト) によって
多少の大小あり



5号館 1F/2F

アカデミックシアター公認の団体として認定されるには下記の要件を満たす必要があります。

募集プロジェクト

- 学生プロジェクト
- 教職員プロジェクト

応募条件

1. 「得意分野」や「専門領域」を活用したプロジェクトであること。
2. プロジェクトには代表となるリーダー（＝キャプテン）のもと、プロジェクトを運用すること。
＊ 学生プロジェクトは必須。（教職員プロジェクトは任意。）
3. アカデミックシアター主催の全体イベント（年3回程度）に、必ず参加すること。

施設コンセプト

文理の垣根を越えて 社会の諸問題を近畿大学として 解決に導く学術拠点

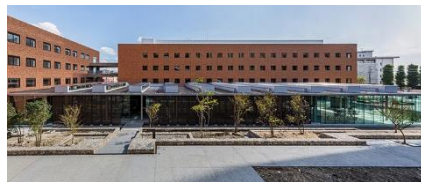
施設名称



近畿大学アカデミックシアター (近畿大学・知の劇場)



- 1号館 → インターナショナルフィールド
- 2号館 → オープン・キャリアフィールド
- 3号館 → ナレッジフィールド
- 4号館 → アメニティフィールド
- 5号館 → **ビブリオシアター**
ガラス張りの空間
<ACT（アクト）>
- 6号館 → **THE GARAGE**



ACT（アクト）採用基準

施設コンセプトに基づき、以下のプロジェクト採用基準を設定

- 1 × **他領域の掛け合わせになっているか？**
そこに化学反応がおこる下地はあるか？

ゼミ活動は研究室で行えるものと捉え、ACT（アクト）では、ゼミ活動の延長上ではなく、**文系**の学生×**理系**の学生であったり、学生×企業学生×地域の掛け合わせなど、学部横断、領域横断を伴った新しい活動であること。

- 2 **社会的課題に向き合った、「実学教育」を伴っているか？**

“実学”の精神を踏まえ、社会の様々な問題に向き合ったテーマであり、さらに、学内での研究活動のみにとどまるのではなく、社会実装を目指した活動であること。

上記をすべて満たした上で、以下の2つの形態のプロジェクトを募集

ACT（アクト）の形態及び応募条件

①常設アクト

1年間ACT（アクト）内に常設の活動スペースを設けて上記の採用基準に基づき推進するプロジェクト。

【応募条件】

- ・成果発表プロジェクトを含むイベントをACT（アクト）内や実学ホール、ラーニングcommonsで必ず年2回以上実施すること。
- ※イベントは、プロジェクトメンバー以外の学生も参加できるようにすること。
- ・最終報告会で、プロジェクト内容を公表すること。
- ・イベントなどを実施した場合は、必ず活動報告を行うこと。
- ・最終報告会等、アカデミックシアター内のイベントに積極的に参加すること。
- ・コラボレーション空間として活用することを前提に、常時開錠可能(誰でも、いつでも入室できる)であること。

②タイムシェアアクト

1つのACT（アクト）を複数のプロジェクトで共同利用。**週1回以上、3カ月を超えるものを原則プロジェクトの対象とする。**（上記以外は、アカデミックシアター学生センターへのイベント利用申請で随時対応）

【応募条件】

- ・成果発表プロジェクトの成果をプロジェクト終了後実学ホール、ラーニングcommons等で公表すること。
- ※イベントは、プロジェクトメンバー以外の学生も参加できるようにすること。
- ・イベントなどを実施した場合は、必ず活動報告を実施すること。
- ・最終報告会等、アカデミックシアター内のイベントに積極的に参加すること。

“モノづくり”施設（6号館 THE GARAGE）を活用することで、これまで以上に活動のフィールドが拡がり、より新しく、そして面白い取り組みにチャレンジすることが可能となります。

募集枠は2つ。

1つは取り組むテーマとメンバーを自由に決めて「自由テーマ枠」。

さらに令和5年度はこれに加え「公式テーマ」を導入。

学生1名からでも応募が可能に。

分類	概要	想定枠数
①自由テーマ枠	プロジェクトの定義に沿う範囲で、 学生・教職員が自由にテーマを設定し応募する枠。 各自でキャプテンと初期参加メンバーを設定し、応募する。 自由にテーマとメンバーを決めて応募。 (従来通りの募集枠)	30 程度
②公式テーマ枠 〈学生のみ対象〉	事前に用意された5つの公式テーマを 選んだ上で、学生1名から応募可能。 応募した学生同士での対話会を実施し、 マッチングを行って、プロジェクトとして組成の有無を決定。 * 内容次第で、既存プロジェクトとの合流の可能性も想定。	5 程度

「自由テーマ枠」に関して

ACADEMIC THEATER

「自由テーマ枠」の申請にあたっては、下記の項目について、プロジェクトの代表もしくは学生キャプテン下記の項目に対して記入・申請をお願いいたします。

* 「公式テーマ枠」応募者も可能な範囲で記入してください。

- ①あなたの「得意分野」や「専門領域」は何ですか？
- ②その「得意分野」や「専門領域」を活用してどのようなテーマで、何を行いますか？
または、学生へのミッションを与えますか？
- ③現時点で、一緒に活動するメンバーを教えてください。
- ④どのような活動を行うのか、1年間の具体的な活動計画を教えてください。
- ⑤プロジェクトを通じて、アカデミックシアターや学生に対して、どのような貢献ができるかを教えてください。
- ⑥最後に、プロジェクトにかかる意気込みを教えてください。

公式テーマの紹介

SDGs/SDGs達成+beyond

2030年を目標としたSDGsの達成と、その先にある社会のあり方について自由に想像・構想し、活動を行う枠。

A. 「7年後の未来」を考えよう

SDGsの達成とされる2030年。その頃に、私たちの世界はどのように変わっているのだろうか。

どこで、何をして、どのような生活を送っているのだろうか？

このプロジェクトではそんなことを自由に想像し、7年後の未来を描き、

その実現のためにできることに取り組んでいく。

ともに考えてみよう、私たちの未来を。

2030年

SDGs

#SDG達成 +beyond

#7年後の大学生活

#7年後のSNS

#7年後のスマホ

#7年後の仕事

#7年後の恋愛事情

#7年後の音楽

公式テーマの紹介

宇宙/地球環境

宇宙や地球環境といった巨視的な観点から、私たちの生活を見つめ直し、社会と地球の課題に取り組む活動を行う枠。

B. 「宇宙の力を使った生活」を考えよう

もう宇宙旅行が当たり前の時代…とまではなっていないけれど、実は私たちはたくさんの「宇宙の力」の恩恵を受けて暮らしている。地球の周りを飛ぶ無数の人工衛星によって、正確な天気の情報・災害情報・人や車の位置情報など、さまざまなデータが提供されている。宇宙の視点から地球全体を見回す。そんな広い視野で、私たちの生活を見つめ直してみよう。きっと面白いアイデアが生まれるはず。

宇宙旅行

宇宙データ

人工衛星データ

JAXAについて知りたい

世界の友人の位置情報

謎の島を発見

ガイドブックにない旅行

宇宙データで育てる野菜

宇宙ブランド

公式テーマの紹介

ウェルビーイング/幸せ

世界中から注目が集まりつつある「ウェルビーイング＝幸せ」をテーマに一人一人、そして社会の幸せについて考え、活動を行う枠。

C. 「幸せな大学生活って？」を考えよう

「ウェルビーイング」や「幸福度」といった言葉がよく聞かれる。どうして今「幸せ」なのだろう？
今、お金や地位を他者と競い合うことだけが幸せではない、と世界中の人たちが考え始めている。

私たちも「幸せな大学生活とは何か」をあらためて考えてみよう。

何を学び、どんなことに取り組み、誰とつながり、どこへ向かうのか。

まずは理想を語り合うところから、はじめよう。

#ウェルビーイング

#幸福度

#キャンパスライフ

#新しい授業の受け方

#新しい勉強の仕方

#大学でやりたいこと

#大学で不安に感じていること

#大学でつながりたい人

#理想の大学生活

公式テーマの紹介

地方創生/まちづくり

特に地元・東大阪市や大阪府を中心とした地方創生やまちづくりについて考え、行動する枠。（ただし活動地域は限定しない）

D. 「理想の学生街」について考えよう

近畿大学のキャンパスの周りは、学生の多い、いわゆる「学生街」。
だからといって学生だけが主役ではない。色んな人たちが暮らし、ひとつの「まち」となっている。
どんな「学生街」が理想なのか、みんなで考えてみよう。
世界中の学生街について調べてみるのも面白い。
そして、今できることがないか考え、行動してみよう。

#理想の学生街

#学生だけじゃつまらない

#社会とつながりたい

#国際交流したい

#カルチャー発信の場

#世界の学生街を知りたい

#文系も建築に関わりたい

#文理横断

#コミュニケーション

公式テーマの紹介

多様な価値観による共創

個性的な学生が集まる近畿大学ならではの、多様な価値観/背景/文化等の垣根を超え、人と人の相互理解と共創に向けて考え、取り組む枠。

E. 「近大の多様性」について考えよう

近畿大学には、色んな背景を持った多様な学生たちがたくさん集まってくる。

それが近大の魅力となり、強みとなっていく。

だからあらためて、私たちがお互いにいかに多様で、違った価値観を持っているかについて、考えてみよう。

そして、違った人同士が同じ目的を持って学んでいるすばらしさについて、考えてみよう。

きっと、新しい発見があるはず。

近大の多様性

おもしろい人に出会いたい

世界を広げたい

学部を超えて共創したい

ジェンダーを超えて共創したい

価値観を超えて共創したい

知らない価値観に触れたい

狭い付き合いを超えたい

色んな文化を知りたい

「公式テーマ」に関して

「公式テーマ枠」の申請にあたっては、申請書中の「希望する公式テーマ」を選択し、その公式テーマに関心がある理由を記入してください。

後日「対話会」を実施して、具体的な取り組みの方向性を調整します。

希望する公式テーマ

- ☐ A. 「7年後の未来」を考えよう（SDGs/SDGs達成+beyond）
- ☐ B. 「宇宙の力を使った生活」を考えよう（宇宙/地球環境）
- ☐ C. 「幸せな大学生活って？」を考えよう（ウェルビーイング/幸せ）
- ☐ D. 「理想の学生街」について考えよう（地方創生/まちづくり）
- ☐ E. 「近大の多様性」について考えよう（多様な価値観による共創）

その公式テーマに関心がある理由を申請書に記入。

「公式テーマ」応募者を対象に、面談前に「対話会」を実施。
どのような取り組みができるかを対話・調整する場を設けます。
（対話会の希望日時、申請時に記入）

申請方法

1) 応募

2023年1月13日（金） までに

「令和5年度 プロジェクト申請書」に
必要事項を記入し、ACT推進室まで提出ください。

- * 学生は従来通りの「自由テーマ枠」か
新たな「公式テーマ枠」かを選択。
- * 提出はメール・手渡しいずれも可。

2) 面談

**申請書提出と同時に必ず面談希望日時を
Googleフォームに記入してください。**

（第3希望まで記入可能）

各自の希望日時を調整の上、

1月19日（木）～2月3日（金）の期間に

において面談を実施いたします。

* 手渡しの場合も必ずフォームに記入してください。

3) 「公式テーマ」応募者のみ：対話会

「公式テーマ」応募者は面談前に対話会を行います。

申請時に希望日時をGoogleフォームに記入してください。

スケジュール

- ・ **12月19日（月）**：募集開始
- ・ **2023年1月13日（金）**：申請書締め切り
- ・ **1月19日（木）～2月3日（金）**：面談
- ・ **3月上旬**：正式通知
- ・ **3月下旬**：各プロジェクト入れ替え
- ・ **4月～**：運用スタート（～3月末）

■ 応募申請等に関する問い合わせ先 -

- ACT 推進室（ACT212）
- TEL：06-6730-5880（内線6522）
- MAIL：act@ml.kindai.ac.jp

※月～金 8:45～18:30 / 土 8:45～17:30